

グラビア	第36回地方自治研究全国集会 宮城自治研	1
発掘！地域の希望のタネ	富山県滑川市〈天日方式製塩 滑川銀の塩〉	5
給食のじかん	〈tonton汁〉前橋市役所現業労働組合	羽鳥 稔 6
	熊本地震「想定外」の災害に備える	8
焦点	脱原発の知事誕生は追い風となるか 川内原発の稼働を停止させるために	森 雅美 10

特集 熊本地震「想定外」の災害に備える

減災から防災社会へ	岩田孝仁	16
老朽化する公共施設と震災 —熊本地震が与えたインパクト	藤本英行	24
機動力のある被災地支援活動の構築に向けて —福岡市「自己完結型支援物資配送」の取り組み	小野哲司	31
災害時要援護者対策はなぜ進まないのか —熊本地震から視えてきた避難所の課題と今後のあり方	有賀絵理	37
熊本地震から見えた現業委託化の課題 —清掃・給食の現場から	後藤公明	44

【記録】 宮城自治研	記念講演◎宮城の未来、復興へのまちづくり	増田 聡	50
	宮城自治研 全体会から		61

各県自治研 活動レポート	お声かかれれば“どさ(どこへ)”でも—自治労山形県本部	佐藤茂雄	62
-----------------	-----------------------------	------	----

書評	師岡康子 監修 外国人人権法連絡会 編著 『Q&Aヘイトスピーチ解消法』	菅原敏夫	64
----	---	------	----

連載	自治研作業委員会『自治体から発信する人権政策』		
	『月刊自治研』を読む◎革新自治体二題	篠田 徹	65

	自治研センターの機関誌案内		71
--	---------------	--	----

	次号予告・編集部から		72
--	------------	--	----



熊本地震 「想定外」の災害に備える

東日本大震災の教訓は、熊本地震にどのように生かされてきたのでしょうか。物資の配送、災害弱者対策、災害ごみ対策などの具体例をもとに検証します。



熊本日日新聞社提供

宇土市ほか
被災する庁舎、行政の混乱
災害時の行政機能確保が不可欠とされるなか、なせ庁舎の耐震化は先送りされてきたのか。取材から見えた公共施設の課題をレポートします。
(本誌二四頁)



福岡市
「自己完結型支援」の実践
被災自治体に負担をかけず、ニーズに即した支援をいち早く届けるモデルを構築した福岡市。SNSを活用した物資配送の仕組みなどを紹介します。
(本誌三二頁)

福祉避難所と災害弱者
避難生活に配慮の必要な災害弱者は、熊本地震においても肩身の狭い思いを強いられました。災害時要援護者対策のどこに課題があるのでしょうか。
(本誌三七頁)



熊本市・大津町ほか
現業職場は
どう動いたか
現業の委託化が、自治体の被災対応にも大きな影響を与えています。災害ごみ回収、避難所での炊き出しなど、直営現場の災害対応をレポートします。
(本誌四四頁)